

omniCHROMA Flow BULK クリニカルガイド

ご使用前のシミュレーションにお使いください。 ☎ 0120-54-1182

オムニクロマフローバルクには、シェードがありません。

オムニクロマフローバルク自体が、充填する窩洞の色調に同化します。

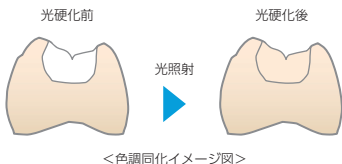
また、バルクフィルタイプのコンポジットレジンで光硬化深さが大きいため、窩洞への一括充填が可能です。

光硬化深さの違いを除き、通常のコンポジットレジンと同じようにお使いいただけます。

オムニクロマフローバルクの硬化前のペーストは白色不透明で、歯質との識別が容易です。

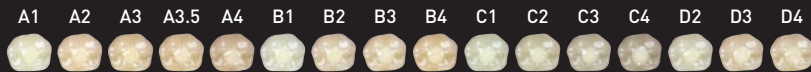
光硬化後に、窩洞の色調に同化した自然な外観になります。

オムニクロマフローバルク (厚さ1mm)



■人工歯窩洞に充填したオムニクロマフローバルク (光硬化前後)

光硬化前



光硬化後



窩洞：φ4mm × 深さ3.5mm

オムニクロマフローバルクの光照射時間は20秒以上です。

下表の光硬化深さを超えない範囲で一括充填が可能です。

表よりも深い窩洞では、積層充填してください

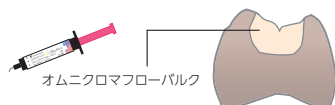
著しい変色歯にオムニクロマフローバルクを充填した場合、光硬化後に明度が高く／彩度が低くなりやすい傾向があります。

オムニクロマフローバルクの光照射条件と光硬化深さ

※1) JIS T 6514に基づく

光源	光量	照射時間	光硬化深さ ^{※1)}
ハロゲン	600 mW/cm ²	30 秒	3.7 mm
		20 秒	3.6 mm
	800 mW/cm ²	30 秒	4.1 mm

LED	800 mW/cm ²	20 秒	3.5 mm
		30 秒	3.9 mm
	900 mW/cm ²	20 秒	3.5 mm
		30 秒	4.0 mm
	1000 mW/cm ²	20 秒	3.6 mm
		30 秒	4.1 mm
	1200 mW/cm ²	20 秒	3.7 mm
		30 秒	4.2 mm



周辺に歯質の無い大きなⅢ、Ⅳ級直接修復や、変色歯質・金属色の遮蔽をしたい場合は、オムニクロマフローバルクを充填する前にブロッカー(オムニクロマ ブロッカーまたはオムニクロマフロー ブロッカー)や色調遮断用の材料を充填してください。

ブロッカーの使用方法は裏面を参照してください。

ブロッカー

-omniCHROMA-
BLOCKER

omniCHROMA
BLOCKER Flow

ブロッカー（オムニクロマ ブロッカー（販売名：オムニクロマ、認証番号：230AFBZX00049000）、オムニクロマフロー ブロッカー（販売名：オムニクロマフロー、認証番号：302AFBZX00087000））は背景色を遮蔽します。

ブロッカーや色調遮蔽用の材料を併用すると、より多くの症例に対応することができます。



オムニクロマ
フローバルク

オムニクロマ
ブロッカー

積層硬化体



オムニクロマ
フローバルク

オムニクロマ
フロー ブロッカー

積層硬化体

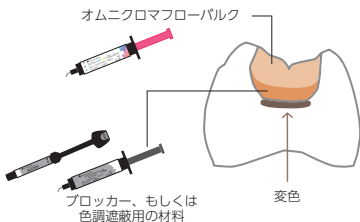
オムニクロマフローバルクをブロッカーに積層すると、**ブロッカーの色調に同化**します。

横から見た図

オムニクロマフローバルク 1mm
ブロッカー 1mm

変色歯質／金属の遮蔽

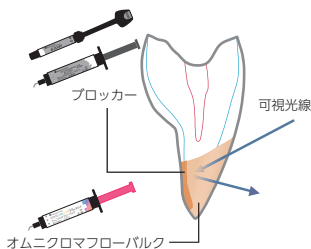
金属の色を遮蔽したい場合は、色調遮蔽用の材料で色調を遮蔽したのちに、オムニクロマフローバルクで修復します。変色歯質の色を遮蔽したい場合は、ブロッカーもしくは色調遮蔽用の材料で色調を遮蔽したのちに、オムニクロマフローバルクで修復します。オムニクロマフローバルクはブロッカーもしくは色調遮蔽用の材料の色調に同化します。



大きなⅢ、Ⅳ級の直接修復

周囲に歯質の無い大きなⅢ、Ⅳ級直接修復では、ブロッカーの充填後にオムニクロマフローバルクを充填します。これにより、唇側から舌側に光線が抜け、充填部位が暗くなるのを防ぎます。

※審美性とリテンションを向上させるため、前歯部の窩洞形成においては、エナメルマージンにベベルを付与してください。



ブロッカーの厚みは症例により異なります。目安は0.5mmです。

明度が高い／不透明な症例にはブロッカーを厚くし、明度が低い／透明な症例にはブロッカーを薄くすることで調整できます。

